



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月5日

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 信之
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 延廣 徹 (TEL) 06-6209-8500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	60,205	12.1	1,014	—	945	—	2,267	—
2024年3月期第3四半期	53,713	△12.5	△1,914	—	△1,503	—	△582	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 785百万円(△28.9%) 2024年3月期第3四半期 1,103百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	114.32	—
2024年3月期第3四半期	△29.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	125,269	56,751	45.8
2024年3月期	125,418	56,918	44.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 57,331百万円 2024年3月期 56,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2025年3月期	—	24.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	13.5	1,500	—	1,200	—	2,100	—	105.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	20,652,400株	2024年3月期	20,652,400株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	813,611株	2024年3月期	813,611株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	19,838,789株	2024年3月期3Q	19,838,909株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、一部に足踏みが残るものの、雇用・所得環境が徐々に改善し、緩やかに回復しています。世界経済は、米国において利下げが開始されたものの、高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞、米国の新政権による今後の政策動向に伴う影響や地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、2021年度よりスタートしました第5次中期5ヵ年経営実行計画の方針（KIZUNA経営の推進とKIZUNA指標の達成）に沿った重点施策を進め、コア技術・素材を中核とした事業ポートフォリオ改革や新事業の創出などによる持続可能な地球環境と社会を実現するための取り組みに注力しております。特に、事業ポートフォリオ改革においては、既存事業の収益力の回復にも努めており、ロジン誘導体・サイズ剤事業等における製造拠点の統廃合を進めております。

業績面では、スマートフォンの出荷台数の回復やデータセンターへの積極的投資などにより、機能性コーティング材料用の硬化型樹脂やハードディスク用精密研磨剤などの販売は前年同期を上回りました。また、海外において板紙向け紙力増強剤や粘着・接着剤用樹脂の販売が堅調に推移したことも業績に寄与いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は602億5百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益は10億14百万円（前年同期は営業損失19億14百万円）、経常利益は9億45百万円（前年同期は経常損失15億3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産売却益9億84百万円の計上や当該売却益に伴う課税所得の増加による法人税等調整額4億1百万円の計上などにより22億67百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5億82百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<機能性コーティング事業>

電機・精密機器関連業界は、電子部品などの需要が回復基調で推移しています。このような環境のもと、当事業におきましては、今後の需要拡大に向けて人的・設備的な経営資源を積極的に投入している機能性コーティング材料用の硬化型樹脂は、スマートフォンやディスプレイ関連分野での需要回復が進みました。

その結果、売上高は127億3百万円（前年同期比14.9%増）、セグメント利益は9億82百万円（同202.4%増）となりました。

<製紙・環境事業>

製紙業界は、中国の段ボール原紙工場の稼働が低い状況にあり、また国内においても市況の低迷が続いており、厳しい需要環境となりました。このような環境のもと、当事業におきましては、アジアでの需要の創出に注力している板紙向け紙力増強剤が堅調に推移したことなどにより、増益となりました。

その結果、売上高は166億13百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益は14億66百万円（同61.3%増）となりました。

<粘接着・バイオマス事業>

粘着・接着剤業界は、国内の自動車関連分野では一部で生産停止の影響があり、テープやシート類用途などの需要も弱含みとなりました。このような環境のもと、当事業におきましては、千葉アルコン製造株式会社の稼働率は改善しつつありますが、機器の不具合等により想定が生産量に届かず、水素化石油樹脂の収益を押し下げました。一方、ロジン系の粘着・接着剤用樹脂はアジア地域を中心に販売が堅調に推移しました。

その結果、売上高は205億72百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント損失は16億75百万円（前年同期はセグメント損失27億96百万円）となりました。

<ファイン・エレクトロニクス事業>

電子工業業界は、電子部品などの需要の回復や生成AIの需要増加に伴うデータセンターへの積極的投資が進んでおります。このような環境のもと、当事業におきましては、将来に向けて生産能力増強を進めている半導体関連先端材料のファインケミカル製品やハードディスク用精密研磨剤が大幅な増収となりました。

その結果、売上高は102億47百万円（前年同期比25.0%増）、セグメント利益は7億35百万円（前年同期はセグメント損失2億6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億48百万円減少し、1,252億69百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が27億46百万円増加した一方で、現金及び預金が16億77百万円、棚卸資産が4億33百万円、有形固定資産が9億59百万円減少したことによります。

負債は、長期借入金が16億74百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が6億39百万円、短期借入金が4億64百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ18百万円増加し、685億18百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億67百万円減少し、567億51百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2024年11月5日に公表しました業績予想に修正はありません。

(参考) 千葉アルコン製造株式会社の減価償却費（期初から変更なし）

単位：百万円

2022年度	2023年度	2024年度（予想）	2025年度（予想）
1,043	2,315	約1,900	約1,600

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,578	9,900
受取手形及び売掛金	25,683	28,429
電子記録債権	2,504	2,664
商品及び製品	12,423	11,857
仕掛品	1,603	1,327
原材料及び貯蔵品	9,267	9,675
その他	1,215	1,476
貸倒引当金	△116	△114
流動資産合計	64,159	65,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,723	17,219
機械装置及び運搬具（純額）	14,126	12,859
土地	4,996	5,002
建設仮勘定	1,969	2,913
その他（純額）	1,136	998
有形固定資産合計	39,952	38,992
無形固定資産	1,529	1,363
投資その他の資産		
投資有価証券	11,200	11,162
退職給付に係る資産	6,087	6,337
繰延税金資産	286	282
その他	354	366
貸倒引当金	△79	△81
投資その他の資産合計	17,850	18,065
固定資産合計	59,332	58,422
繰延資産		
開業費	1,927	1,629
繰延資産合計	1,927	1,629
資産合計	125,418	125,269

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,478	10,117
電子記録債務	1,403	1,463
短期借入金	18,512	18,976
1年内償還予定の社債	5,000	-
未払法人税等	434	553
未払消費税等	100	183
賞与引当金	1,190	660
役員賞与引当金	-	20
修繕引当金	732	757
事業整理損失引当金	110	72
資産除去債務	-	174
設備関係支払手形	297	189
その他	6,146	6,795
流動負債合計	43,406	39,965
固定負債		
社債	5,000	10,000
長期借入金	13,875	12,201
繰延税金負債	3,847	4,157
退職給付に係る負債	299	310
資産除去債務	1,919	1,751
その他	151	132
固定負債合計	25,093	28,553
負債合計	68,500	68,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	38,927	40,243
自己株式	△1,211	△1,211
株主資本合計	44,623	45,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,173	5,216
為替換算調整勘定	3,530	3,604
退職給付に係る調整累計額	2,807	2,571
その他の包括利益累計額合計	11,511	11,392
非支配株主持分	783	△580
純資産合計	56,918	56,751
負債純資産合計	125,418	125,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	53,713	60,205
売上原価	45,048	47,765
売上総利益	8,664	12,440
販売費及び一般管理費	10,579	11,425
営業利益又は営業損失(△)	△1,914	1,014
営業外収益		
受取利息	68	75
受取配当金	195	201
不動産賃貸料	35	42
為替差益	254	124
その他	189	145
営業外収益合計	743	589
営業外費用		
支払利息	236	281
社債発行費	-	24
開業費償却	8	297
その他	87	56
営業外費用合計	332	659
経常利益又は経常損失(△)	△1,503	945
特別利益		
固定資産売却益	5	984
投資有価証券売却益	196	478
受取補償金	※1 431	-
特別利益合計	633	1,462
特別損失		
固定資産除売却損	343	72
特別損失合計	343	72
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△1,213	2,334
法人税、住民税及び事業税	598	961
法人税等調整額	△115	401
法人税等合計	483	1,362
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,697	971
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,115	△1,296
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△582	2,267

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,697	971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,724	42
為替換算調整勘定	1,243	6
退職給付に係る調整額	△167	△235
その他の包括利益合計	2,801	△186
四半期包括利益	1,103	785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,059	2,149
非支配株主に係る四半期包括利益	△955	△1,364

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△1,213	2,334
減価償却費	4,242	4,157
開業費償却額	8	297
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△417	△534
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17	10
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△200	△250
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△680	△40
固定資産除売却損益(△は益)	337	△911
投資有価証券売却損益(△は益)	△196	△478
受取利息及び受取配当金	△263	△277
支払利息	236	281
売上債権の増減額(△は増加)	△2,247	△2,847
棚卸資産の増減額(△は増加)	891	521
仕入債務の増減額(△は減少)	△164	681
未払消費税等の増減額(△は減少)	246	207
その他	529	△367
小計	1,123	2,802
利息及び配当金の受取額	257	282
利息の支払額	△232	△276
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△591	△784
営業活動によるキャッシュ・フロー	556	2,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△197	299
有形固定資産の取得による支出	△5,288	△2,383
有形固定資産の売却による収入	14	772
投資有価証券の取得による支出	△32	△47
投資有価証券の売却による収入	253	606
無形固定資産の取得による支出	△69	△68
繰延資産の取得による支出	△49	-
投資その他の資産の増減額(△は増加)	0	△9
その他	△18	△174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,386	△1,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△928	900
長期借入れによる収入	11,994	405
長期借入金の返済による支出	△4,735	△2,633
社債の発行による収入	-	4,975
社債の償還による支出	-	△5,000
配当金の支払額	△952	△952
その他	△59	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,319	△2,315
現金及び現金同等物に係る換算差額	404	△41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	893	△1,338
現金及び現金同等物の期首残高	9,286	9,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,180	7,826

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 受取補償金の内容

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社の連結子会社である千葉アルコン製造株式会社における、水素化石油樹脂製造設備の不具合を原因とする損害に対する補償金であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,051	15,562	18,843	8,196	53,654	58	53,713
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	26	26
計	11,051	15,562	18,843	8,196	53,654	84	53,739
セグメント利益又は損失(△)	325	908	△2,796	△206	△1,769	27	△1,742

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,769
「その他」の区分の利益	27
全社費用の配賦差額(注) 1	379
コーポレート研究開発費用(注) 2	△294
営業外損益(注) 3	△257
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,914

- (注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。
 2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。
 3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,703	16,613	20,572	10,247	60,136	69	60,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	28	28
計	12,703	16,613	20,572	10,247	60,136	97	60,234
セグメント利益又は損失(△)	982	1,466	△1,675	735	1,509	41	1,550

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,509
「その他」の区分の利益	41
全社費用の配賦差額(注)1	△20
コーポレート研究開発費用(注)2	△284
営業外損益(注)3	△231
四半期連結損益計算書の営業利益	1,014

- (注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。
 2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。
 3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	8,775	8,910	8,061	5,295	31,041	58	31,100
中国	1,507	2,679	4,894	1,412	10,493	—	10,493
アジア(中国除く)	719	3,973	2,955	1,286	8,934	—	8,934
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	49	—	2,933	202	3,184	—	3,184
顧客との契約から生じる収益	11,051	15,562	18,843	8,196	53,654	58	53,713
外部顧客への売上高	11,051	15,562	18,843	8,196	53,654	58	53,713

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	10,357	9,204	8,355	6,619	34,536	69	34,605
中国	1,420	2,916	6,155	1,674	12,166	—	12,166
アジア(中国除く)	842	4,478	3,179	1,823	10,324	—	10,324
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	82	14	2,880	130	3,108	—	3,108
顧客との契約から生じる収益	12,703	16,613	20,572	10,247	60,136	69	60,205
外部顧客への売上高	12,703	16,613	20,572	10,247	60,136	69	60,205

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。